

顔認証システムはなりすましに強く安全性が高いとされている。パスワードのように盗用、紛失の恐れがないからである。カメラによって顔のパーツの特徴などを画像、映像から識別する生体認証の一つ。指紋認証や虹彩認証は認証しやすさに個人差がある。静脈認証は認証が複雑で装置が大きい。音声認証は偽装しやすい他、使用できる場所が限られる。それらの生体認証に比べれば顔認証はデメリットが少ない。

顔認証システムの大きな欠点としては、情報流出した際のリスクの大きさがある。顔は他の情報と違って簡単に変えることができないからである。そもそも、プライバシーの侵害に関わるとして、顔認証を含む生体認証に規制をかける地域も存在している。また、顔認証のデータはサイズが大きいという問題もある。

顔認証システムには2Dで判定するものと3Dで判定するものがある。3Dのものは写真による偽装や照明の影響に強い一方、専用のカメラが必要になる欠点もある。精度もまだ不足しているので改善も不可欠で、それに伴うコストの増加も課題である。